

# がん検診をこれから受ける方へ

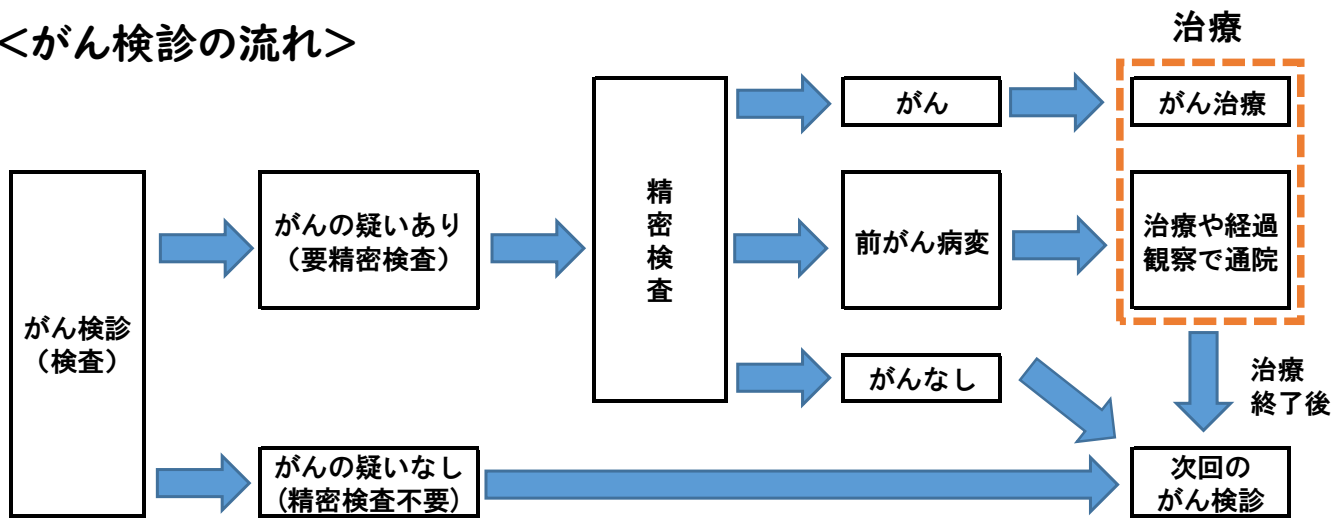
## 日本のがんの現状と検診の役割

- ・現在、日本のがんによる死亡者数は年間 37 万人を超え、死亡原因の第1位です。
- ・40 歳を過ぎると年齢とともに、がん死亡者数は増えていきます。
- ・がん検診は、がんを無症状のうちに早期発見・早期治療し、がんで亡くなることを防ぎます。
- ・日本では、有効性（死亡を防ぐ効果）が科学的に証明されている、5 つのがん検診が推奨されています。

### ※ がん検診の「不利益」 ※

がんがなくても結果が「要精密検査」となる場合（偽陽性）や、がんがあっても結果が「異常なし」となる場合（偽陰性）があります。これらの不利益は、どのような検査にも起こり得ます。

### <がん検診の流れ>



### 検査結果が「要精密検査」となったら、必ず精密検査を受けましょう!!

国のがん検診指針により、精密検査結果は市と受診した医療機関に報告されることになっています。取得した個人情報には守秘義務に従い適切に取り扱います。

### 症状があるときは「検診」ではなく、「医療機関」へ

すでに気になる症状がある場合には、検診を待たずに早めに医療機関を受診しましょう。

## “がん検診”と“精密検査”について

### 胃がん検診

胃がんは、50 歳代以降にかかる人が多く、日本のがん死亡原因の上位に位置しています。

**受診間隔** 2年に1回  
**検査内容** 胃透視検査(バリウム) 内視鏡検査(胃カメラ)

胃透視検査は、発泡剤（胃を膨らませる薬）とバリウム（造影剤）を飲み、胃の粘膜を観察する検査です。  
内視鏡検査は、口や鼻から内視鏡を挿入し胃などを検査します。

精密検査となった場合

- ・内視鏡検査
- ・生検：細胞や組織の一部を切り取って検査をします。

裏面へ

## 大腸がん検診

大腸がんは、かかる人が増加しており、日本のがん死亡原因の上位に位置しています。

受診  
間隔



1年に1回

検査  
内容



便潜血検査

2日分の便を採取して、目に見えない血液が便に混じっていないか調べる検査です。

精密検査となった場合

- ・全大腸内視鏡検査：肛門から内視鏡を入れて大腸を検査します。
- ※便潜血検査の再検査は精密検査を受けたことにはなりません

## 肺がん検診

肺がんは、日本のがん死亡原因の上位に位置しています。

受診  
間隔



1年に1回

検査  
内容



胸部X線検査

胸のX線撮影を行います。全体を写すため、大きく息を吸い込んでしばらく止めて撮影します。

### 禁煙で肺をまもろう

喫煙者は非喫煙者と比べ、男性で4約倍、女性で約3倍肺がんになりやすくなります。受動喫煙も肺がんのリスクを2~3割高めます。禁煙によって、ご自身と周囲の人の健康な肺をまもりましょう。



精密検査となった場合

- ・胸部CT：多方向から体にX線をあてて、体の断面を画像化して検査します
- ・気管支鏡検査：口や鼻から気管支鏡を入れて検査をします

## 乳がん検診

乳がんは、日本女性のがんの中でもかかる人が多く、死亡原因の上位に位置しています。

受診  
間隔



2年に1回

検査  
内容



マンモグラフィ検査

乳房を専用の機械で挟んでX線撮影を行います。小さいしこりや石灰化を見つけることができます。

### 乳房を意識した生活を

普段の自分の乳房を見て・触って知っておくことで、しこりなどの「いつもと違う」に早く気付くことができます。乳がんの早期発見・早期治療につながる大切な習慣です。



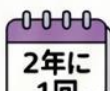
精密検査となった場合

- ・穿刺吸引細胞診：腫瘍部分に針を刺して、細胞を吸引し、採取した細胞を確認します
- ・針生検：腫瘍部分に太い針を刺して、組織のまとまりを切り取り、検査をします

## 子宮がん検診

子宮頸がんは、日本女性のがんの中でも、かかる人が多く、特に30~50歳代で多いがんです。

受診  
間隔



2年に1回

検査  
内容



細胞診検査

子宮の入り口を、先にブラシのついた専用の器具でこすって細胞を取り、異常な細胞がないかを顕微鏡で調べる検査です。

精密検査となった場合

- ・コルポスコープ(拡大鏡)を用いた組織診や細胞診、HPV検査の組み合わせ